

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
宿坊街道路・空き地修景整備事業 【羽黒手向地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～平成31年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 宿坊街の建築景観と統一感のある良好な景観が形成され、歴史的風致の維持向上が図られる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的な景観に配慮した植栽、案内板、ポケットパークの整備、道路美装化、無電柱化といった公的空間整備の進め方について、調査検討を行ったが、具体的な計画を策定するまでには至らなかった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	景観整備による費用対効果の検討や電線管理者との調整が進まず、地域住民への相談も具体的なレベルまでには至っていない。専門業者から、様々な整備手法について提案を受けながら、関係機関と調整を図り、早期に整備計画をまとめる。

状況を示す写真や資料等

①歴史的風致維持向上計画担当課長会議の開催

- 第1回
 - 日時 平成27年6月3日(木)13:30～
 - 内容 今年度事業の進め方について
- 第2回
 - 日時 平成27年10月16日(金)13:00～
 - 内容 今年度事業の進捗状況について
来年度の予算要求について
- 第3回
 - 日時 平成27年11月5日(木)16:00～
 - 内容 風致形成建造物に関する規程の整理

④先進地調査

- 日時 平成27年10月10日(土)
- 場所 埼玉県川越市 水戸市内重点地区
- 内容 蔵造の街並みや洋館が建ち並ぶ歴史的景観の整備やまちの賑わい状況調査
(道路整備、サイン整備、無電柱化等)
- 日時 平成27年10月24日(土)
- 場所 岩手県盛岡市 八幡町通道路整備事業
- 内容 車歩道の縁石がないソフト地中化柱状機器の配置状況の確認
- 日時 平成27年11月14日(土)
- 場所 茨城県水戸市 水戸市内重点地区
- 内容 城下町の景観に配慮した景観整備状況について調査
(道路整備、サイン整備、無電柱化等)

②出羽三山魅力発信協議会の開催

- 第1回
 - 日時 平成27年10月15日(木)19:00～21:10
 - 場所 手向地区地域活動センター
 - 内容 一部:手向を知る講座「江戸時代の門前町」
二部:協議会
 - ①活動経過と今後の進め方について
 - ②まちづくり協定書の締結について

- 第2回
 - 日時 平成28年3月14日(月)18:30～
 - 場所 手向地区地域活動センター
 - 内容
 - 1 事例紹介「富山市岩瀬のまちづくり」
 - 2 報告「まちづくり協定の取組状況について」

③電線管理者との協議

- 日時 平成27年6月19日(金)10:00～
- 場所 山形河川国道事務所
- 参加者 山形河川国道事務所、山形県、東北電力、NTT、関係自治体
- 内容 無電柱化推進計画策定に向け電線管理者との意見交換



H27.10.17羽黒山歴史探訪 まち歩きツアーより

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度
史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業 【羽黒松ヶ岡地区】		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成10年度～平成29年度

支援事業名 歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業費国庫補助事業

計画に記載している内容 「史跡松ヶ岡開墾場保存管理計画」に基づき、平成10年度から年次的に行っている蚕室等の補助修理や防災設備工事を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年度については、5月～10月の事業期間で3番蚕室の経年劣化した雨戸や内部建具、屋根、外構等の修繕工事を行った。平成27年度については、5月～11月の事業期間で本陣にパンザマスト式避雷設備を、2番蚕室の屋根補修と棟上銅帯式避雷設備を設置した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



本陣の前景(施工前)



本陣裏パンザマストの全景(施工後)



2番蚕室の前景(施工前)



2番蚕室3階屋根修理避雷設備設置状況

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
松ヶ岡振興支援事業 【羽黒松ヶ岡地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成33年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 市松ヶ岡地域では明治初期に行われた開墾当時の形態を継続し、施設や開墾当初の趣旨目的、実践の多くの部分が今も守られている。これらを背景としたビジョンを策定し、将来的にソフト活用と連動して史跡内建造物が有効活用されることにより、歴史的風致の維持向上が図られる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度に松ヶ岡史跡内事業者及び住民が中心になって策定した「松ヶ岡地域振興ビジョン」の骨子の具体化に向けてソフト事業を推進しながら、対応するハード事業の具体計画(「松ヶ岡開墾場保存・活用計画」)を策定するために住民及び事業者とともに話し合いの場を設けた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【平成27年度】

○松ヶ岡地域振興ビジョンに基づく建造物保存活用の検討

- ・第1回国指定史跡松ヶ岡開墾場保存・活用策定委員会(4月22日)
- ・事務局会議(4月25日、7月7日、10月7日、10月30日)
- ・第3回歴史的建造物活用懇談会(5月8日)
- ・第4回歴史的建造物活用懇談会(6月10日)
- ・第5回歴史的建造物活用懇談会(10月29日)
- ・庁内担当部課長会議(12月18日、2月24日)
- ・第6回歴史的建造物活用懇談会(3月30日)

○イベントの開催

- ・松ヶ岡のいも煮会(10月4日)
- ・1番蚕室ライトアップ(2月4日～14日)
- ・雪灯籠まつり・新酒を楽しむ会(2月6日)
- ・松ヶ岡文化講演会(3月19日)



保存・活用策定委員会(4月22)



事務局会議(4月25日)



歴史的建造物活用懇談会(10月29)



松ヶ岡のいも煮会(10月4日)



1番蚕室ライトアップ(2月4日～14)



雪灯籠まつり(2月6日)

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
シルクタウンプロジェクト推進事業 【全市域】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 国内唯一の絹の地域内一貫生産がある地域において、絹産業や絹文化の歴史を発信することにより、文化的価値の継承につながり歴史的風致の維持向上が図られる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市の近代化の礎となった絹織産業の文化を後世に保存継承しながら、絹の新たな文化価値を創造することで地域の持続的振興・発展を図る「シルク文化創造都市」を目指すために様々な事業を実施した。

- 飼育体験の実施
- シルクガールズプロジェクト支援
- 地域資源活用研究開発事業(鶴岡シルク産業振興事業)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○飼育体験の実施

幼・保育園、小中学校などの施設を中心に蚕の飼育体験・布の製作を行い、地域の絹文化の啓発をおこなった。
27年度:48施設 7名の個人 松ヶ岡開墾場内 合計 7,500頭(このほかに 晩秋蚕7,000頭)



指導員による施設への説明会



指導員による小学校での授業



開墾場内での蚕飼育

○シルクガールズプロジェクト支援



児童館との交流会(27年6月20日)



大産業祭でのドレス展示(27年10月17～18日)



コレクション(マリカ市民ホール)(平成27年11月1日)



歴史的建造物等を背景としたアーカイブ製作



庄内空港展示(28年3月19日～4月3日)

鶴岡シルクをテーマに学習を行う「シルクプロジェクト」を立ちあげ、鶴岡シルクの伝統を守り新たな創造を提案する活動を実践している鶴岡中央高校に対して支援するとともに、連携して事業を実施した。

○地域資源活用研究開発事業(鶴岡シルク産業振興事業)

- ・ブランド化推進・産地高度化事業・著名なプロデューサーやデザイナーの協力を得ながら「kibiso」ブランド確立
- ・産学官連携事業:域内同業者や異業種事業者との連携による新商品開発
- ・販売促進事業:東京三越などの百貨店や地元イベントでの催事
- ・観光連携事業:観光客向け記念品の作成、地元旅館への試作品提供などの実施

評価軸③-11 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
民俗芸能保存伝承支援事業 【市全域】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成18年度～平成34年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	無形民俗文化財民俗芸能に関する支援を実施する。 ・無形民俗文化財保存団体の活動助成及び継承に必要な衣装や道具の更新等に関する費用等の各種助成制度の情報提供など必要な支援を行う。 ・過去に作成した無形民俗文化財のアナログ記録映像のデジタル化と、未記録の無形民俗文化財について新たな記録保存を行う。 ・無形民俗文化財保存団体のネットワーク構築や発表機会創出等の検討及び開催支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・例年、藤島伝統芸能振興会、高寺八講保存会、町屋神楽保存会、黒川能保存会、山五十川古典芸能保存会、木野俣獅子踊り保存会、小国八幡宮弓射神事保存会に対し、補助金交付要綱に基づき補助対象経費の2分の1の額(上限額あり)を交付した。 ・市内の無形民俗文化財保存団体を対象に企業メセナ等の情報提供を行った(平成25年度は8件、平成26年度は6件、平成27年度は6件)。 ・無形民俗文化財のアナログ記録映像のデジタル化事業として、平成25年度に15件、平成26年度に11件、平成27年度に10件のデジタル化(DVD化)を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 <p>助成対象の「藤島伝統芸能振興会」</p>		 <p>助成対象の「高寺八講保存会」</p>	
 <p>情報提供の結果、(一財)丸高歴史文化財団からの助成を受けることが決まった戸沢自治会(戸沢花胡蝶歌舞伎)</p>		 <p>作成したDVD アナログ記録映像のデジタル化事業で作成したDVD</p>	